

親と子の健やかな育ちに寄り添う 乳幼児の口と歯の健診ガイド 第2版

医療法人緑生会
あびこクリニック 歯科
長友 文 (歯科衛生士)



B5判/128頁
定価 3,990円
(本体 3,800円 + 税 5%)
医歯業出版刊
(2012年5月発行)

私が臨床で経験し、培ったことや疑問に感じていたことが凝縮され、数々の書籍の知りたかった内容が抜粋されている！ わかりやすい！ 読み終えた瞬間、本書を抱きしめていました。

基本的なことの再確認だけではなく、新しい情報として、社会状況の変化に伴って変わっていく母子保健・乳幼児の口腔健康診査のポイント、10年ぶりに改正された「母子健康手帳」や歯科の分野でも推進されている食育など、最新の内容にリニューアルされた第2版です。

臨床場面で、乳幼児に接する機会の多い歯科衛生士の場合、保護者からの質問や相談の内容はおおよそ見当がつくと思いますが、その機会が少ない歯科衛生士の場合、保護者からの不意の質問に困ったことがあるのではないのでしょうか？

本書を熟読していれば、いざというときに役立つと思います。そして、本書のはじめにあるように「子どもの保健に携わる専門関連職種の方々にも参考図書として活用していただくことを切望します」という思いは私も同感です。

子どもを取りまく社会環境が変わり、親も

子もその育ち方や生活感覚が変わってきた現代における保健指導対策として、育児支援型の乳幼児健診が必要とされ、また、親を育児不安にさせない言動や対応が求められるでしょう。課題としては、育児支援型の健診を実践できる医療従事者を育てることなどがあげられていますが、そのためには関連他職種との連携は、今後ますます重要になってくると思います。私の勤務先は、産科を併設しているため、助産師・看護師・栄養士と接する機会が多くあります。院内での保健指導・支援内容の相違により保護者の混乱を招かぬよう、情報交換を目的として各職種同士がよく話しており、連携の必要性を日々実感しています。

臨床の現場にいと、さまざまな質問や相談を受けると思いますが、本書の3章「相談・保健指導のQ & A」では、健診時によく受ける質問や相談について「こんな質問にこんな答え方」というQ & A形式でまとめられています。また、エビデンスに基づいた解説も載っているので、納得して学ぶことができます。

本書の「この時期にみておきたいこと」「Key Word」「Coffee Break」では、見落としはいけない要点が書かれており、読み取りやすくていねいさを感じます。

写真や図説などもポイントが押さえてあるのでわかりやすく、口頭だけでは難しい保護者への説明も、本書を活用することにより、スムーズに伝わることと思います。

また、歯科健診を育児支援の場とするためのアドバイスが多く、副題にある『親と子の健やかな育ちに寄り添う』サポートができる歯科衛生士になれる、臨床現場に活かせる書籍だと思います。